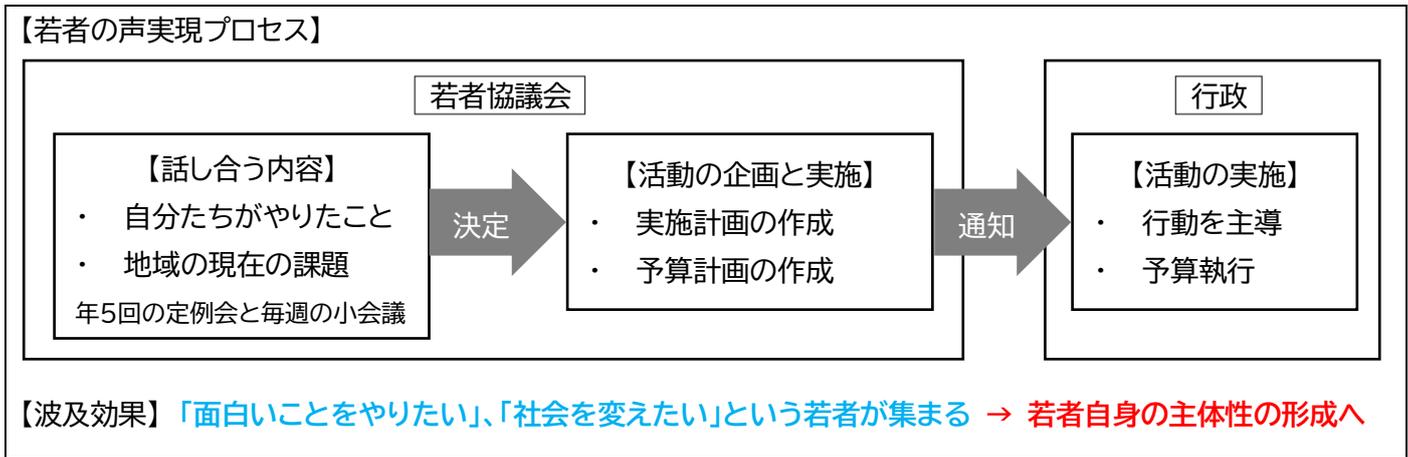


# 日本版若者協議会(仮称あかいわ若者協議会)立ち上げに関する提案

地域のあり方を決めていくにあたり、日本は若者、特に子どもたちの声が届きにくい社会となっています。子どもたちが大人になっても政治に興味を持たない理由は、自分たちの声を実現できないというあきらめに近いものがあると考えられます。そこで、私たちの地域に、子どもたちが中心となって組織する「日本版若者協議会」を立ち上げ、「若者の声を実現できる地域」を目指したいと考えています。

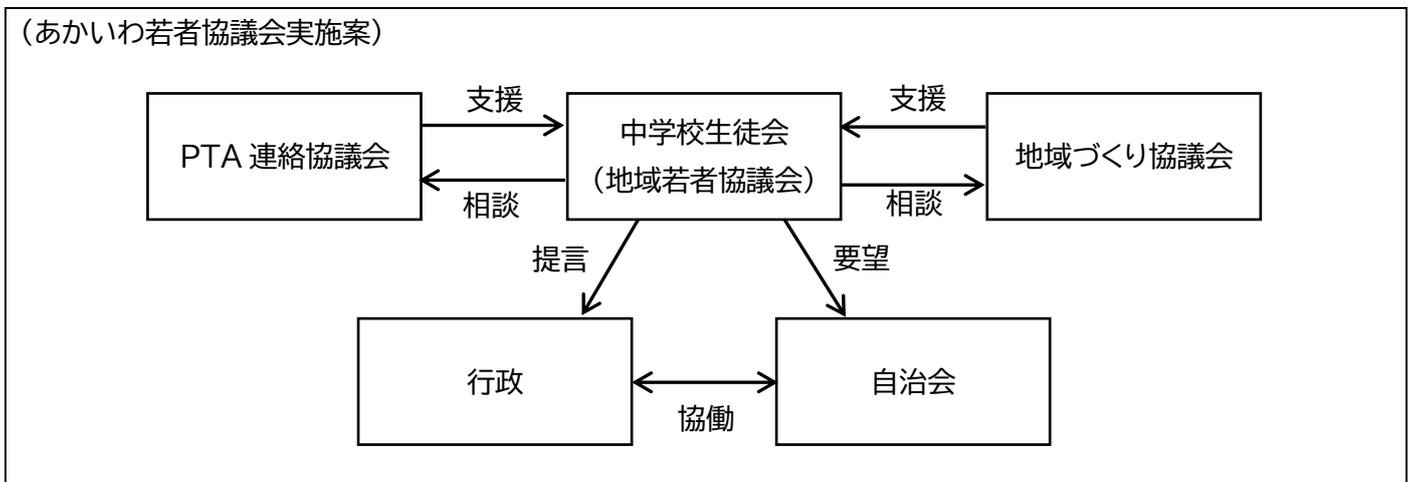
**モデルは「スウェーデンの若者協議会」**  
それぞれの行政区からネット選挙で選ばれた12~17歳の若者で構成される地域づくり協議会。若者の声を実現するために行政と協働しており、若者らの意思決定に基づき予算を執行することが可能となっています。  
※添付資料(ダイヤモンドオンライン記事)参照

## スウェーデン版若者協議会の概要



## 赤磐市ではどのような形で実現していくのか？

大規模に始めようとすると、地域や行政との調整にだけ時間がとられかねません。若者協議会はまず「グループを作る」ことが重要であることから、小学校区もしくは中学校区で若者協議会グループを作り、既存の組織(PTA や自治会など)が支援する枠組みがありさえすればスタートすることが可能です。



## 若者協議会の最大の利点は「子どもたちも社会の一員であることを認めること」

私たち国民は年齢や性別に関係なく、等しく様々な権利を持ち合わせています。しかし実際のところ、子どもたちの「やりたい」を実現できる環境は乏しく、子どもたちは自分たちが思いを実現できる権利を有していることに気づけない社会になっていると感じます。子どもとしてやりたいことは、「子どもの期間」にしかできないことです。その思いを実現し、自分たちの力で成し遂げることを積み重ねていく体験が、社会を良くするための原動力になります。私たちは子どもたちを社会の一員として迎え入れるために、若者協議会の立ち上げを支援したいと考えています。